

外務大臣	第一復員大臣	大東亞大臣	内閣書記官長	内閣總理大臣	外甲第二號	起昭和三十年一月十六日	開議	决定昭和三十年一月十八日	施	昭和三十年一月十八日
内務大臣	司法大臣	農林大臣	内閣書記官	内閣書記官	案	昭和三十年一月十六日	裁可	昭和年月日	行	昭和三十年一月十八日
大藏大臣	文部大臣	工商大臣	内閣書記官	内閣書記官						
第一復員大臣	厚生大臣	運輸大臣	内閣書記官	内閣書記官						
別紙外務内務兩大臣請議			内閣書記官	内閣書記官						

朝鮮、臺灣及樺太：關スル内務省

所管事務ヲ外務省ニ移管スルノ件
右閣議ニ供入

指 令 案

朝鮮、臺灣及樺太ニ關スル内務省
所管事務ヲ外務省ニ移管スルノ件
請議ノ通

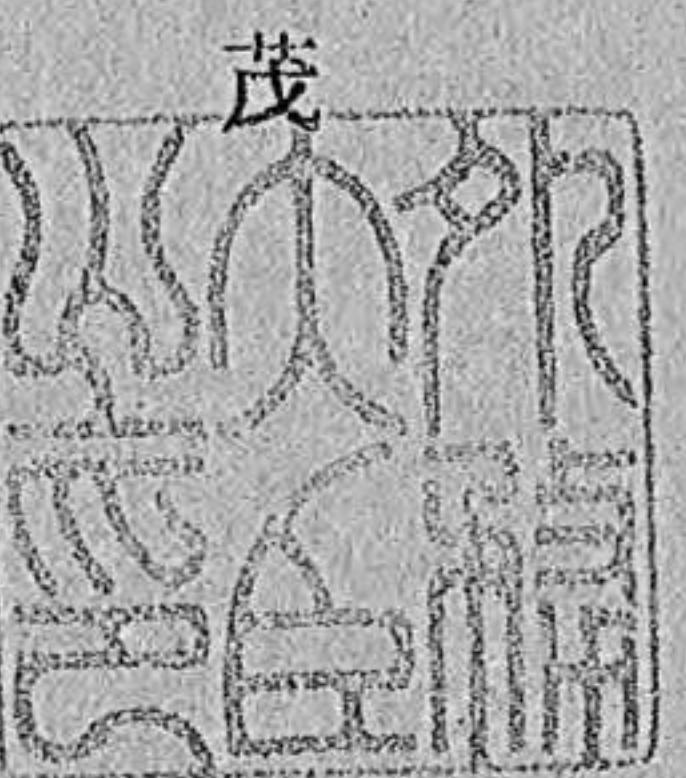
管一ノ一普通第二號

朝鮮、臺灣及樺太ニ關スル内務省所管
事務ヲ外務省ニ移管スルノ件

標記ノ件ニ關シ別紙ノ通決定致度此段及請議候也

昭和二十一年一月十七日

外務大臣 吉田



内務大臣 三土忠造



内閣總理大臣 男爵 幣 原 喜重郎 殿

内閣總理大臣 民情 賽 廉軍備 離

内閣大臣 二十一日 懸

内閣大臣 告出

昭和二十一年一月二十日
總理大臣 民情 賽 廉軍備 離

朝鮮・臺灣及樺太ニ關スル内務省所管事務ヲ
轉換・臺灣及樺太ニ關スル内務省所管事務ヲ

會一、一書面譲二號

朝鮮・臺灣及樺太ニ關スル内務省所管事務ヲ
外務省ニ移管スルモノトシ之ニ伴ヒ外務省管理局ノ機構ヲ

内務省

終戦後ノ事態ニ鑑ミ内務省所管ノ朝鮮・臺灣及樺太ニ關スル事務
ハ之ヲ外務省ニ移管スルモノトシ之ニ伴ヒ外務省管理局ノ機構ヲ
整備スルモノトス

聖訓文小字ノト入

ハシヒ代議首ニ跡曾入八子、トマ文ニ附コ代議首曾與同、跡轄
絲姫翁、事應ニ識ニ内議首也曾、薄輶、臺衡久軒太ニ關入八事部

内
代
議
首

代議首ニ跡曾入八、物一閣藏家案一
薄輶、臺衡久軒太ニ關入八内議首也曾事部

(参照)

内務省官制

第一條 内務大臣ハ地方行政、議員、警察、土木、國土
計畫、地方計畫、都市計畫、地理、出版、著作権及植物ニ
關ル事務ヲ管理レ東京都長官、管視總監、北海道廳長
官、樺太廳長官及府縣知事、監督入

ナ統理入

第八條 管理局ニ於テハ朝鮮總督府及臺灣總督府、關
税事務ヲ掌入